

平成28年度第1回京都府自殺対策推進協議会

1 日時・場所

平成28年10月14日(金) 午後3時～4時30分
京都ガーデンパレス「鞍馬の間」(2階)

2 出席者

(1) 委員 (25名中22名)

河瀬会長、三木会長代理、池田委員、石倉委員、小野里委員、北村委員、久保委員、黒川委員、小林委員、佐々木委員、竹本委員、霍野委員、西村委員、波床委員、平田委員、廣岡委員、丸井委員、矢野委員、山口委員、山本(雅史)委員、山本(陽子)委員、渡辺委員

(2) 京都府

余田高齢社会対策監、廣瀬福祉・援護課長、大辻福祉・援護課自殺対策推進担当課長

3 議事等

(1) あいさつ

(2) 京都府の自殺の状況について

(3) 自殺対策基本法の改正について

(委員から)

- 民間団体と行政との連携した取組を今後もしっかりと進めてほしい。
- 自殺者が減っているのは事実であるが、自死遺族はどんどん増えていることを御理解いただきたい。

(4) 自殺予防週間の取組について

(委員から)

- 9月9日の京都市役所前でのキャンドルナイトは、自死遺族も参加して行った。キャンドルは大変綺麗で、キャンドルの光が遺族を癒やし、慰めるなど大変よかったので、来年も実施したい。
- ゲートキーパー交流会については、参加者の意識も高く、非常に意義があると思う。
- キャンドルナイトの連動イベントとして、支援者を対象に「対話のつどい」を11月2日に開催するので、参加いただきたい。

(5) 京都府自殺対策推進計画の進捗状況について

(委員から)

- 本当に多様な取組がされていると分かり驚いたところであるが、各事業の効果について振り返ることがあればよいと思う。

(6) 自殺対策強化月間の取組(案)について

(委員から)

- 京都いのちの日シンポジウムについては、本協議会の意見も聞きながら、私たちも参加できるようなアイデアがいただけたら嬉しい。
- 来年の京都いのちの日にあわせて、昨年度も実施した宗教者によるライフワークと自殺についてのメッセージ集作成を実施する予定である。